

石仏散歩

No.116

発行 新潟県石仏の会(代表 星野 紀子)

2023年3月20日 発行

事務局 〒945-0837 柏崎市三島町16-2 渡邊三四一 電話0257-22-1941

ホームページ <http://niigata-sekibutu.voxx.jp>

石仏散歩

越前浜のとりのかさま

新潟市 大木 禊 爾

新潟市の越前浜は慶長七(一六〇二)年に越前の国三里浜の人々がこの地に漂着して村を創建したところですが。この村には次のような伝承があります。

夜陰に乗じて越前の国よりのがれた三隻の舟は、一隻は荒天の中に沈み、一隻は佐渡に漂着、一隻は越前浜にながれついた。そして飢えと寒さの中でただよっているこの海辺に導いたのは、遠くから聞こえた「にわとり」の鳴き声でした。きつと人家があると勇気づけられ上陸したのです。

いわばにわとりは村人をこの地に導いてくれた鳥として、いまでも特ににわとりを大切にし、越前の国より奉祀した神を祀り、「とりのこさま」「鳥の子明神」と称して崇敬しているのです。それ故に村人は決してにわとりの肉や卵を食べず、病気など致し方ないときには神前に礼拝して許しをこうて食べ、旅先で誤って卵や肉を食べると早速自宅に手紙を出し、家人が本人に代わって神社を参拝し許しを得たといえます。

また、鳥の子様の鳥居の下の小石を借りてきて、病人に拝ませると病気が治るといい、治るとその石を倍にしてお返ししてお礼参りをします。

拜殿には石のにわとり、石灯籠ににわとりの彫刻、狛犬でなしに正月のお飾りのような物がのっています。たまご？



下越・新潟地区見学会報告 新潟市南区(旧白根市)周辺の 歴史と石仏を訪ねて

新潟市 渡辺 景子

新潟市で生まれ育ちながら今まで一度もわずか20km位の白根に行ったことがなかった。

白根といえば風・角兵衛獅子しか知らず、探訪が白根と知って「石仏あるの?」と言ってしまった。

コロナの収束も見えないなか、お天気にも恵まれ新潟駅からバスで20名出発。

青蓮庵(しようれんあん)

庭に如意輪観音と地藏が数体、その一体が両膝を立てた形をとっている。県内では胎内市の宝持院にあるが珍しい。



古川神明宮

小さな可愛らしい狛犬がお出迎え。白山

系狛犬で越前の笏谷石(しゃくだにいし)で造られ、おかつば型のたてがみ特徴。安土桃山時代のものらしい。あまりの可愛さに小柄な小林さんと並んで写真を撮らせてもらいました。



アグリパーク

農業体験の場として作られた観光施設。

お昼はお値段のわりに大満足。幹事さんありがとう。女性は物産展に来ると買わずにはいられない。大根、いちぢく、味噌等…。

旧笹川邸住宅(国重要文化財)

信濃国笹川村に住む武田の一族で川中島の戦いの後、この地に移住。日本でも有数の規模を持つ大庄屋住宅。いろいろな場所に武田家の紋・武田菱が使われている。江戸時代には味方組

八ヶ村の合計八千石を束ねた。



新潟県石仏の会 下越・新潟地区見学会 令和4年10月14日
新潟市南区・旧白根市周辺の歴史と石仏を訪ねて

戸頭道祖神(とがしらどうそじん)

江戸末頃、陰陽石の一方が屋敷跡から、もう一方は池から出現され、ご神体として祀られている。文久元年の棟札が残っている。昭和に入って芸者さんが十円(今の千円ほど)のお賽銭をあげると、その日はお茶引きにならずお客がついたといわれる。



稲難止米神社(いなとめじんじや)

伝説では河が増水した時、大蛇が堤防に張り付いて破堤を防いだ。蛇を稲の守り神として地元では蛇を決して殺さない。



角兵衛地蔵尊

月潟は中之口川の洪水に苦しみ、現金収入のため梨栽培や角兵衛獅子の旅稼ぎの巡業があったという。起源は不明。地蔵尊の拜殿の裏から美空ひばりの唄が流れていて思わず口ずさんだ。
戸笛にふかれて逆立ちすれば戸

永安寺

門前の地蔵が宝珠を持つ腕に子供を抱いている。この寺は良寛様が出家前に結婚して男児をもうけ、たびたび訪れていたという。その子が亡くなり出家したらしい。本尊は釈迦如来で、浦佐毘沙門堂から勧請した毘沙門天が祀つてある。金箔を貼った逗子の中に脇侍と足元に邪鬼。火災の時辛うじて持ち出した。



虫神社

明治の頃まで、信濃川の反乱の度にツガムシ病にかかる人がいて祀ったという。当初は船の渡し場だったところに祠があったが、昭和に入り村はずれの現在地に祀つた。小さいコンクリートの祠で赤い鳥居がある。木の扉に剣型の窓、奥にも同じ剣の窓があり、神が降臨する依り代であろうか。



出発前に渡された行程表には13ヶ所巡るとあったが、時間の都合で全部は見学できなかった。最後に寄った月潟駅に保存されていた「カボチャ電車」はとても懐かしく数日後の日報の「23年ぶりに復活」という記事にビックリ。楽しい有意義な一日でした。



事務局だよ!



◆上越地区見学会のお知らせ

日時 4月29日(土・祝)

9時30分～16時

テーマ 糸魚川・延喜古道の石仏を訪ねて

集合 ①9時30分 マルケー・石橋バスセンター(参加者には別途案内)

②9時35分 JR直江津駅南口ロータリー

解散 16時(集合場所にて解散)

見学地 ①蓮台寺/七社大神(五百羅漢・庚申塚・結界石ほか)

②羽生(双体道祖神・不動明王・馬頭観音ほか)

③水保観音堂(木造十一面観音像・地藏菩薩ほか)

④雲台寺(馬頭観音群・阿弥陀三尊ほか)

⑤金蔵院(中世板碑ほか)、観音堂(子安地藏・青面金剛)

⑥フォッサマグナ・パーク(日本列島中央地溝帯)

昼食 漁師直営店「魚祭(うおさい)」

(刺身・エビが不都合な方は要連絡)

参加費 5000円(資料代、昼食代、バス代、等を含む)

定員 20名(マスク着用をお願いします)

締切 4月15日(土) ※先着順
申込み 上越事務局 栗間啓志まで
(携帯電話かEメールで)

電話 090・7803・2428

Eメール white-angel-wings.1405@docomo.ne.jp

「令和5年度総会のご案内」

今年度総会を左記のとおり開催します。ぜひご参加ください

出欠は同封ハガキにて5月9日(火)までに返信願います。

日時 5月14日(日)13時～16時30分

会場 新潟県立歴史博物館 講堂

第一部 公開講演会(13時)

「中世越後の信仰と石造物」(仮) 講師 前嶋 敏氏

(新潟県立歴史博物館 専門研究員)

第二部 総会(14時40分)

令和4年度事業報告・決算報告

令和5年度事業計画・予算案

創立30周年記念事業について

その他

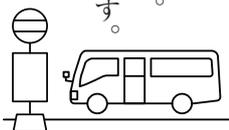
第三部 懇談会(16時)

※懇親会は差し控えます。

※館内のレストランで食事可能です。

※同館への長岡駅発バス時刻は

同封の時刻表を参照ください。



「すーとん・さーくる」

合本を製作中

来年度に創立三十周年を迎える当会の記念事業の一つとして、同実行委員会ではこれまで会報1号～95号の合本冊子を製作する作業を継続してきました。

このほど会報の不足分のコピー印刷を終え、一冊ごとに組む最終作業を終えました。あとは表紙のデザインを検討して製本業者に発注します。この合本冊子は県内の市町村立図書館や博物館などに寄贈されます。



お願い 今年度の会費未納の方には振替用紙を同封しました。至急納入願います。

編集後記

今年度最後の会報になりました。少し不安もありますが、コロナ禍も落ち着き平常に戻りつつあります。五年度もお会いできるのを楽しみにしております。

下越・新潟地区事務局 堀内正子

本号編集担当 下越・新潟地区事務局